

インド:「カルタナカ州 バンガロール」

- ◆ 州政府や財閥が出資し、バンガロール郊外に大規模IT産業集積団地(International Technology Park)を造成。
- ◆ インド国内では通信・電気などのインフラが未整備のためITP内に独自の通信施設と自家発電装置を設置し、企業をサポート。
- ◆ コンピュータ・ソフトウェアの輸入関税の免除、10年間のタックスホリデーや減価償却率の引き上げ等の優遇措置。
- ◆ 州内に77の工科大学があり、アメリカの大手IT企業のほとんどが進出、“インドのシリコンバレー”と呼ばれている。

台湾：「新竹科学工業園區」

- ◆ 国家の科学技術政策として、海外から高度技術を導入し、台湾の産業の高度化を推進。
- ◆ 教育・科学・文化の経費確保を憲法に規定。
- ◆ 産業高度化促進条例にて、技術設備・研究開発・人材育成等への投資に対する所得税控除等、種々の優遇措置を導入。
- ◆ 新竹科学工業園區は台湾初のサイエンスパークで、園区内には集積回路関連産業を中心に約400社のハイテク企業が進出。